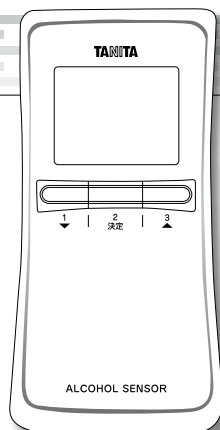
取扱説明書 ALBLO アルブロ

ALCOHOL SENSOR
アルコールセンサー
FC-1200/1200F

※本書に記載されているイラストはイメージです。

もくじ

ご使用の前に

●商品概要 …… 2
●定期点検・修理 …… 3
●安全上のご注意 …… 5
●測定上の注意 …… 8
●精度を保つためのお願い …… 9
●各部の名称 …… 11
●LCD表示画面説明 …… 12

使い方

●電池を入れる・交換する …… 13
●シガーアダプタを使用する …… 14
●設定をする …… 15
●乗務員IDを設定する …… 21
●測定準備 …… 29
●測定する …… 30
●クリーニング …… 38
●メモリー …… 39
●通信仕様を選択する …… 46

必要なとき

●定期点検について …… 50
●こんなときは …… 52
●主な仕様 …… 裏表紙

このたびは、アルコールセンサーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お願い

誤った使い方をしますと、重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。また、必要な時はすぐに取り出せるよう、身近に大切に保管してください。

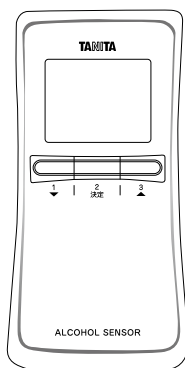
■お客様情報登録について

●アルコールセンサーALBLO FC-1200/FC-1200Fは定期点検のため「お客様情報登録用紙」にご記入の、あとにお買い上げいただく商品です。

▶「お客様情報登録用紙」を記入していただけない場合、メンテナンスが受けられなくなります。また、弊社からメンテナンス時期のご連絡も届かなくなります。

▶修理、不具合など問い合わせも受けられなくなります。

商品概要

アルコールセンサーFC-1200/FC-1200F 本器

FC-1200/FC-1200F 本器

定期点検・修理

定期点検・修理の手続き方法

定期点検と修理の手続きの流れを説明します。

■定期点検（校正）の必要性について

●この商品は性能を維持するため、定期点検を推奨しています。定期点検を実施するため以下の内容をお読みいただきご使用ください。（詳細はP50～P51定期点検についてを参照してください。）

1 **保証書をお手元に用意してください。**
※保証書を紛失された場合は、弊社サービスセンターへご連絡いただき、その旨お伝えください。

2 **定期点検**
窓口：タニタサービスセンター

定期点検実施日までにタニタサービスセンターより連絡いたします。

電 話：0187-66-2168
FAX：0187-66-2193

受付時間/8:00～17:00
（土・日・祝祭日・夏季休暇・年末年始は除く）

3 **担当者より、受け渡し等の手順を説明します。**

会社名などの必要事項を確認し、定期点検品の回収、交換品のお届け、必要代金等をご案内いたします。

4
交換品のお届け

本器ご購入時に登録された送付先宛にお届けいたします。
※送り先を変更される場合は、あらかじめ定期点検のご依頼の際にお伝え下さい。

5
お届けした交換品を通常通りご使用ください。

新しい保証書は同封しておりません。定期点検品の保証書が継続して有効となりますので、大切に保管してください。

2 **修理**
窓口：タニタサービスセンター

タニタサービスセンターにお電話にて、「修理」をご依頼ください。

電 話：0187-66-2168
FAX：0187-66-2193

受付時間/8:00～17:00
（土・日・祝祭日・夏季休暇・年末年始は除く）

3 **担当者より、受け渡し等の手順を説明します。**

会社名などの必要事項を確認し、修理品の回収、修理終了品の納期、必要代金等をご案内いたします。

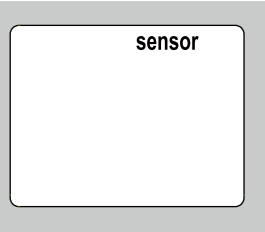
4 **修理品のお届け**

本器ご購入時に登録された送付先宛にお届けいたします。
※送り先を変更される場合は、あらかじめ修理品交換のご依頼の際にお伝え下さい。

5 **お届けした新規交換品を通常通りご使用ください。**

新品交換の場合新たな保証書が入っておりますので、必要事項をご記入のうえ大切に保管してください。

■定期点検の実施

定期点検実施日までにタニタサービスセンターより定期点検のご案内を連絡いたします。
下記1．2.の場合（どちらか早い方）は定期点検をタニタサービスセンターに依頼してください。

1. 表示部に右図のように「sensor」マークが表示された場合

※定期点検をお知らせするため、センサー使用時間、累計約55時間以上（約20000回※1の測定に相当）になると「sensor」マークが点滅表示します。
※センサー使用時間、累計約58時間以上（約21000回※1の測定に相当）で測定できません。「Er12」が表示します。

2. 使用開始から1年を経過した場合

※定期点検をお知らせするため、センサー使用日数が365日以上になると「sensor」マークが点滅表示します。
※センサー使用日数が400日以上経過すると測定できません。「Er05」が表示します。
※本器はセンサーの特性上、センサー使用時間、累計約55時間以上（約20000回※1の測定に相当）または、センサー使用日数365日以上経過すると一定の精度を保持できなくなる可能性があります。このような場合には精度の保証は致しかねますので定期点検を必ず実施してください。

※1 0.05mg/Lの呼気測定を続けた場合、センサーの使用時間が短くなります。

安全上のご注意

本書では、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、色々な絵表示で説明しています。その表示と意味をよく理解してから本文をお読みいただき、本器を安全に正しくお使いください。

⚠警告	この表示の欄は、誤った取扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う恐れのある」内容を表示しています。		
⚠注意	この表示の欄は、誤った取扱いをすると、「使用者が軽傷を負う恐れまたは物的損害が発生する恐れのある」内容を表示しています。		
禁止	してはいけない「禁止」内容です。	必ず守る	必ず守っていただく内容です。
お願い	本器を最良の状態で保つために守っていただきたい内容です。	お知らせ	本器の使用・点検に関連して、お客様に知っていただきたい補足事項です。

⚠警告

禁止

●お酒を飲んでの自動車等の運転は、絶対にしないでください。
▶飲酒運転は法律で禁止されています。
▶お酒を飲んでいても、使い方によっては本器で検知できない恐れがあります。

禁止

●本器のデータのみで飲酒運転の有無の判断を行なわないでください。
▶本器の測定データは飲酒の有無を判断するための一つの判断材料としてのみお使いください。使い方や故障などにより、正確な結果が出ない恐れがあるため、本器のデータのみで飲酒の有無の判断は行わないでください。
▶測定結果に基づいて、車両の運転や機器の操作などを行ってよいか否かの判断に対して、本器の製造者および販売にたずさわる関係者は一切の責任を負いません。

禁止

●本器を子どもの手の届く場所に置かないでください。
▶付属のマウスピースを誤飲して怪我をする恐れがあります。
▶万一飲み込んだ場合には直ちに医師に相談してください。

次のページへつづく

安全上のご注意

⚠警告

- ●電池や本器を乳幼児の手の届くところにおかないでください。
  - ▶誤飲の可能性があります。
- ●電池は火中に投じないでください。
  - ▶破裂してけがをする可能性があります。

- ●分解や解体は絶対にしないでください。
  - ▶センサーには酸性の材料が使われていますので怪我をする恐れがあります。眼に入ると失明することがあります。
  - ▶万が一付着した場合、直ちに付着部分を多量の水で洗い流します。
  - ▶直ちに流水で15分以上洗い流し、医師の処置を受けてください。

⚠警告

シガーアダプタについての安全上のご注意

■取扱いについて

- ●アルコールセンサーFC-1200/FC-1200F専用のシガ―アダプタ以外は使用しないでください。
- ●他の商品等にはこのシガ―アダプタを使用しないでください。
  - ▶火災、感電、故障の原因になります。

- ●シガ―アダプタはDC12/DC24V、マイナスアース車以外では使用しないでください。
- ●シガ―アダプタのコードやコネクタが傷んだり、ジャックの差し込みがゆるい場合は使用しないでください。
- ●シガ―アダプタのプラグにごみやほこり等を付着させないでください。
  - ▶感電やショート、発火の原因となります。

●シガーアダプタを水につけたり、水をかけたり、水洗いはしないでください。また、濡れた手で扱わないでください。
▶感電、ショートの恐れがあります。

●シガーアダプタのコードを釘等で固定しないでください。
●シガーアダプタのコードの上に重いものを置かないでください。
▶コードの破損により火災、感電の原因になります。

●使用時以外はシガーアダプタを車の差し込み口から抜いてください。
▶絶縁劣化により感電や漏電火災の原因になります。

●シガーアダプタを車の差し込み口から抜くときはコードを引っ張らずに必ずシガーアダプタを持って抜いてください。コネクタを本器から抜くときはコネクタを持って抜いてください。
▶コードを無理に引っ張ると、コードの破損により感電、故障の原因になります。

●⏻ボタンを押しても動かない場合や異常を感じたときは使用を中止し、すぐにシガーアダプタを抜いて点検修理を依頼してください。
▶ 事故や感電、発火の恐れがあります。

測定上の注意

⚠警告

禁止

●**車両の運転や機械の操作の最中に測定を行わないでください。**
▶注意が散漫になり、思わぬ事故を起こす恐れがあります。

自動車等の運転中に本器を使用したことに起因する事故の責任に対して本器の製造者および販売にたずさわる関係者は一切の責任を負いません。

禁止

●**複数の人で一つのマウスピース（ストロー）を使い回さないでください。**
▶本器一台を複数の人が使用する場合には、それぞれの人が必ず自分のマウスピース（ストロー）を使用してください。

禁止

●**測定の際マウスピース（ストロー）をくわえて、口から息を吸い込まないでください。**
▶誤ってマウスピース（ストロー）を飲み込む恐れがあります。

禁止

●**唾液や水などがセンサー内部に入らないように注意してくだい。**
▶故障の原因になります。

お願い

●**マウスピース（ストローホルダー）に強いにおいや汚れがある場合はマウスピース（ストローホルダー）を交換してください。**
▶においや汚れが付着している場合、正しく測定できない恐れがあります。

お知らせ

●**本器は呼気中のアルコール濃度を測定するための機器です。**
お酒を飲んでいなくても、アルコール成分を含んだ飲食物を摂取した後や強い臭いを含んでいる物を口にした後には、センサーが検知することがあります。
例:たばこ　オーラルケアグッズ　等
▶うがいをして再度はかってください。
▶飲食後20分以上経過してから、はかってください。

お知らせ

●**ストローで測定する方法は、簡易測定のため測定値は参考値となります。**
▶精度保証できませんので注意してください。

精度を保つためのお願い

本器は精密に作られております。故障・誤動作・測定の精度低下を防ぐため、次のことを守ってご使用ください。

取り扱いについて

●本器の水洗いは絶対に行わないでください。
　▶故障の原因になります。
●過度の衝撃や振動を与えないでください。
　▶故障の原因になります。
●10℃以上の温度差がある場所に移動させた場合、2時間以上放置してからご使用ください。
　▶正しい測定ができない場合があります。

保管について

必ず守る

●保管の際は必ずセンサーにセンサーキャップをつけてハードケースに保管してください。
また、次のようなところには絶対に保管しないでください。故障の原因になります。
●芳香剤、たばこ、スプレー等においの強いところ
●直射日光の当たることろ
●暖房器具に近いところ
●温度や湿度の変化が大きいところ
●保管温度範囲外のところ（車内の温度差が激しいので絶対に放置しないでください。）
●湿度が高く、水のかかるようなところには保管しないでください。
●湿度の低いところに長時間保管しないでください。
●ほこりが発生しやすいところには保管しないでください。
●トイレ内及び近くなど、アンモニアの影響があるところでは保管しないでください。
●アルコール類と一緒に保管しないでください。
　▶センサーに悪影響を及ぼす恐れがあります。

定期点検について

●必要な時期になりましたら定期点検を必ず行なってください。
　▶定期点検を行なわずに使用された場合、精度の保証は致しかねます。
　詳しくは「定期点検」を参照してください。（本書P50～P51参照）

精度を保つためのお願い

日常のお手入れについて

必ず守る

[本器]

●本器の汚れは水で湿らせ固く絞った柔らかい布で拭いてください。

▶清掃に熱湯や洗剤、除菌グッズ、ベンジン、シンナー等は使用しないでください。

▶薬品を使うとセンサーに悪影響を及ぼす恐れがあります。

[マウスピース] [ストローホルダー]

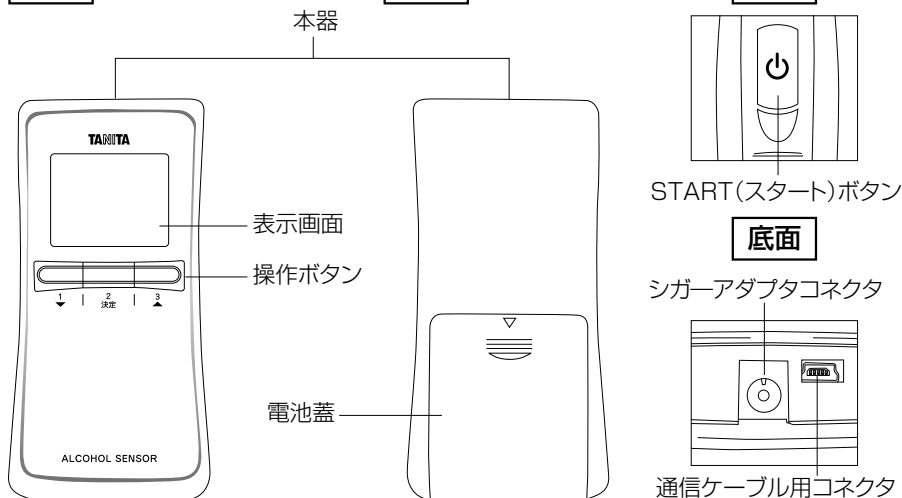
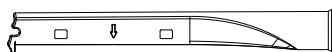
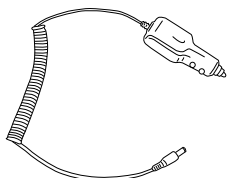
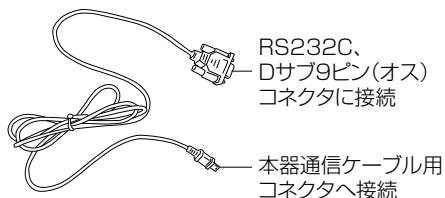
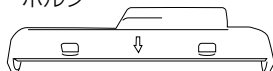
●ご使用いただく前に、「マウスピース、ストローホルダー」に亀裂などの異常がないか確認してください。

▶異常がある場合、正しく測定できなくなる恐れがあります。

●「マウスピース、ストローホルダー」を洗浄するときは、水洗いしてください。

▶熱湯や洗剤、ベンジン、シンナー等は使用しないでください。

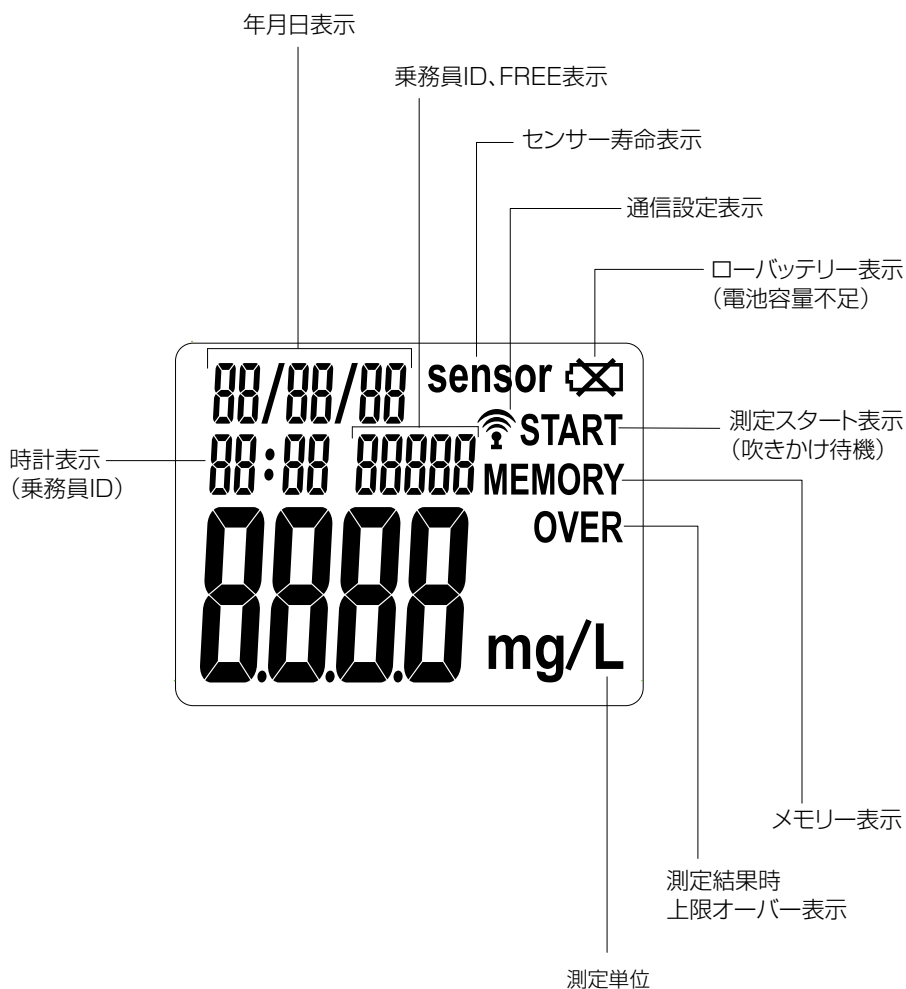
▶薬品を使うとセンサーに悪影響を及ぼす恐れがあります。

各部の名称

付属品の確認

※不足しているものがありましたら、お客様サービス相談室(裏表紙参照)にご連絡ください。

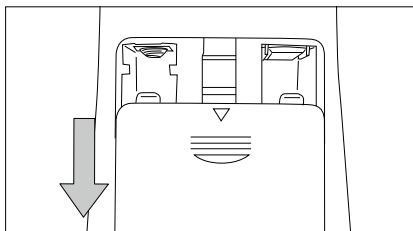
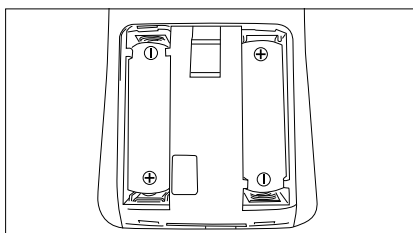
お知らせ

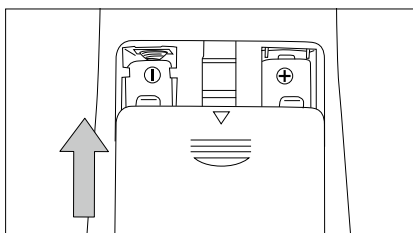
●専用通信ケーブルは本器底面にある通信ケーブル用コネクタへ接続してください。

LCD表示画面説明

年月日表示
乗務員ID、FREE表示
センサー寿命表示
通信設定表示
ローバッテリー表示
（電池容量不足）
時計表示
（乗務員ID）
88/88/88
sensor
88:88 88888
START
MEMORY
OVER
8.8.8.8
mg/L
測定スタート表示
（吹きかけ待機）
メモリー表示
測定結果時
上限オーバー表示
測定単位

電池を入れる・交換する

表示に「 」が表示された場合、乾電池が消耗しています。速やかに単3アルカリ乾電池2本と交換してください。

※「 」表示からさらに乾電池が消耗するとスイッチを押した後、表示が一度全点滅して消え、測定ができなくなることがあります。

1.本器裏面の電池蓋をはずす。
電池蓋をスライドしてはずします。

2.乾電池を2本とも取り出し、新しい乾電池（単3アルカリ乾電池）を入れる。

※初めてお使いになる時は電池は入っておりません。

3.電池蓋を取り付ける。
電池蓋をスライドして「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

●指定の電池（単3アルカリ乾電池）以外は絶対に使用しないでください。電池は必ずアルカリ乾電池を使用してください。マンガン乾電池、充電式乾電池は使用しないでください。
▶故障の原因になります。
●電池は⊕⊖の方向を正しく入れてください。
▶間違えると故障の原因になります。

お願い

●古い電池はお住まいの市町村区の廃棄方法に従って処理してください。

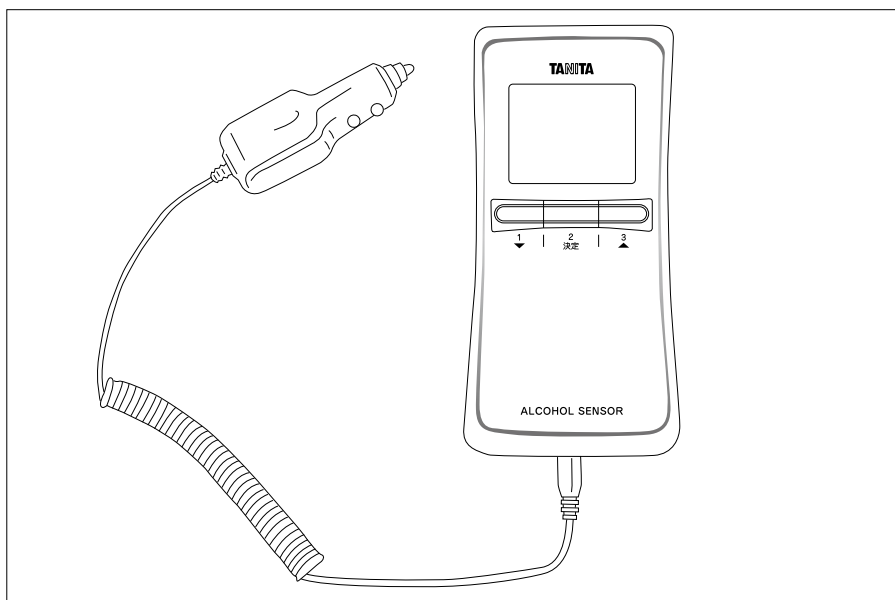
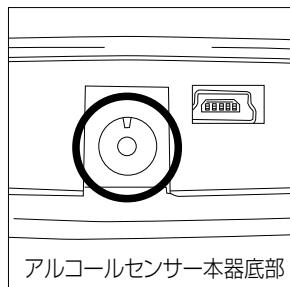
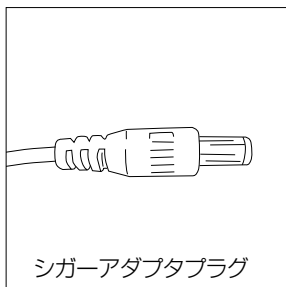
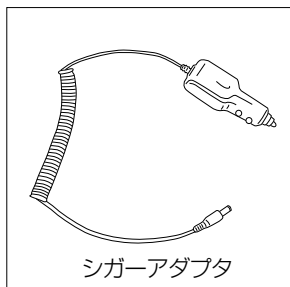
お知らせ

●付属の「お試し用乾電池」は工場出荷時に納められたものですので、寿命が短くなっている場合があります。

シガーアダプタを使用する

シガーアダプタ

シガーアダプタプラグ

アルコールセンサー本器底部

1.シガーアダプタのプラグを本器に差し込み、シガーアダプタをDC12V/24Vシガーソケットに差し込んでください。

設定をする

選択画面

「年月日・時計設定、乗務員ID登録設定、通信仕様設定」の流れは下記となります。各設定画面の表示方法を説明します。

年月日・時計設定画面

00/ 1/ 1
0:00

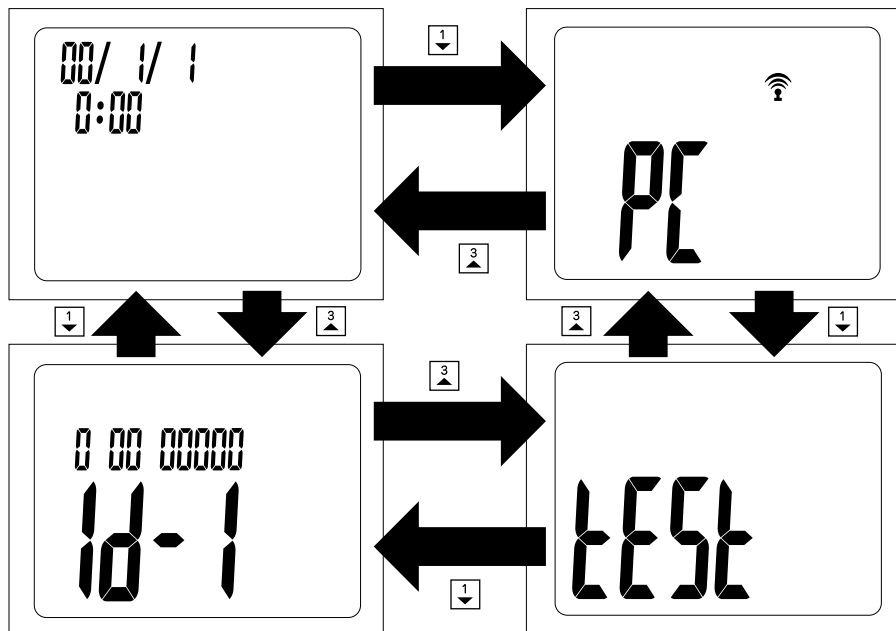
通信仕様設定画面

PC

乗務員ID登録設定画面

0 00 00000
Id-1

（簡易点検画面）

tESt

1.「⏻」を約3秒間長押しする。

2.年月日・時計設定画面表示されて 1 または 3 を押すと「年月日・時計設定画面↔乗務員ID登録設定画面↔（簡易点検画面）↔通信仕様設定画面」と表示が切り替わる。

3.設定したい設定画面を選択する。
年月日・時計設定、乗務員ID登録設定、通信仕様設定の方法は、P16から説明しています。

※選択画面を終了する場合は、「⏻」を押してください。電源が切れます。

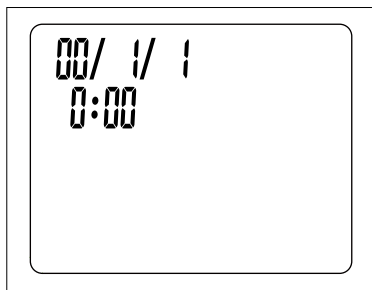
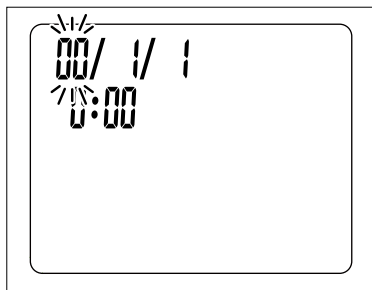
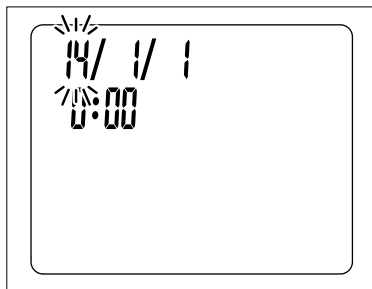
お知らせ

●選択画面表示中に 1 または 3 を押して表示切替するとき、「tESt」簡易点検画面が表示されます。
本取扱説明書では、説明しておりませんので注意してください。
▶「tESt」簡易点検画面の説明は、オプション品のスターターキット、簡易点検キットの「簡易点検キットの使い方」を参照してください。

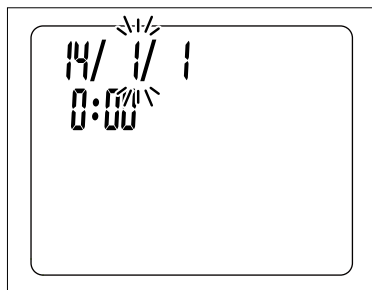
設定をする

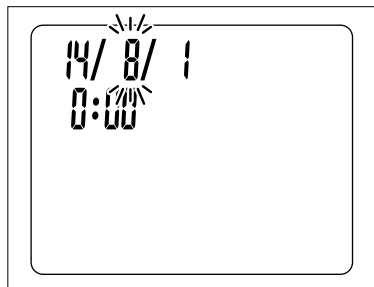
年月日・時計の設定をします。

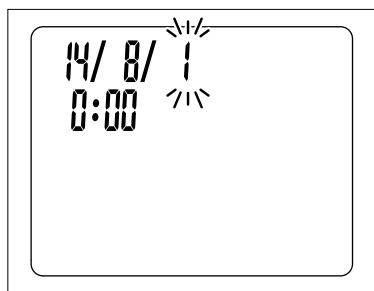
年月日を設定する

例　2014年8月12日を設定します。

1.「⏻」を約3秒間長押しする。

2. 年月日・時計設定画面表示されて、[2 決定]を押して決定する。

「年」の表示が点滅します。

3. [1 ↓] または[3 ▲]を押して設定する。

長押しすると早送りになります。
（設定範囲2000年～2049年）

4. [2 決定] を押して決定する。

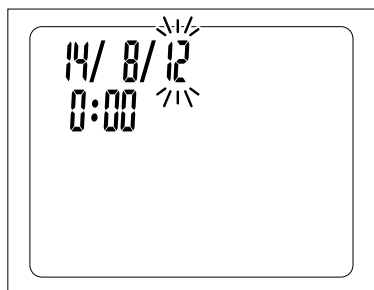
「月」の表示が点滅します。

5. [1↓] または [3▲] を押して設定する。

長押しすると早送りになります。

6. [2 決定] を押して決定する。

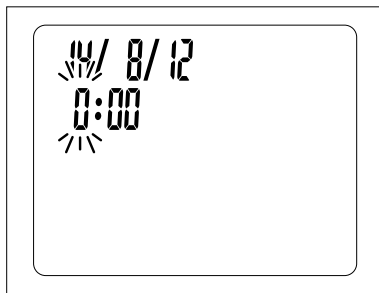
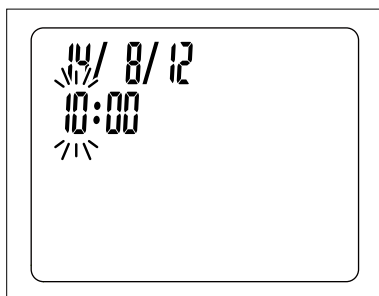
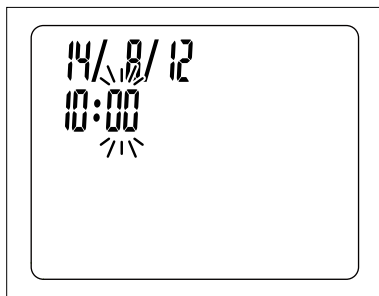
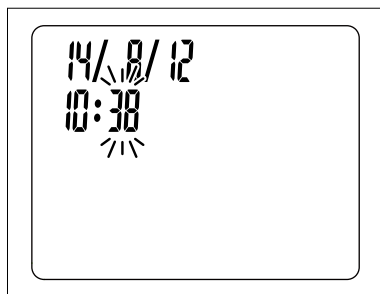
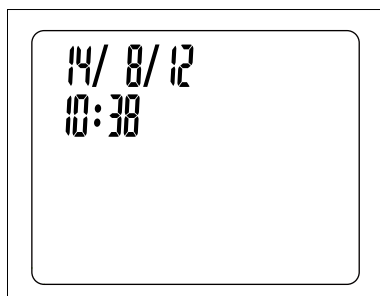
「日」の表示が点滅します。

7. [1↓] または [3▲] を押して設定する。

[2 決定]を押すと年月日の設定は終了です。
続いて時計の設定に移ります。

使い方

設定をする

時計を設定する

例　10:38に設定します。

「時」の表示が点滅します。

1. [1↓]または[3▲]を押して設定する。
長押しすると早送りになります。
（24時間表示）

2. [2 決定]を押して決定する。
「分」の表示が点滅します。

3. [1↓]または[3▲]を押して設定する。
長押しすると早送りになります。

4. [2 決定]を押して決定する。

時計設定終了です。
「年月日･時計設定」が終了すると「ピピ」と音がして約2秒後に電源が切れます。

使い方

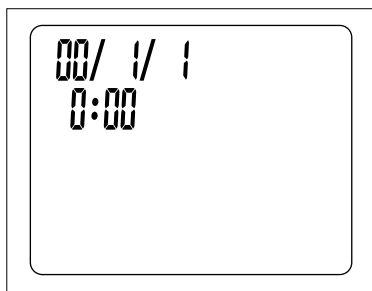
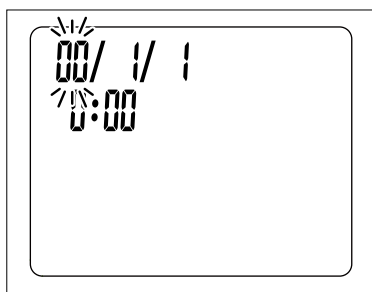
設定をする

設定を変更する

年月日、時計の設定内容を変更する場合には、「年月日を設定する」「時計を設定する」と同じ操作をして変更してください。

お知らせ

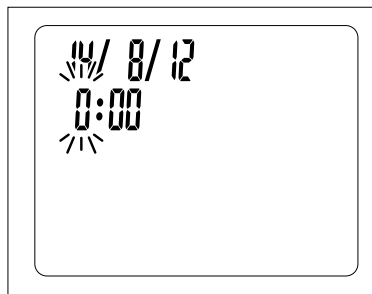
●1分間、操作しない場合、電源が切れます。また、設定が途中の場合は、設定前の値に戻ります。

年月日の設定を変更します。

1.「⏻」を約3秒間長押しする。

2. 年月日・時計設定画面表示されて、[2 決定]を押して決定する。

「年」の表示が点滅します。

3.
〜 P16-3.〜P17-7.と同じ操作をする。
7.

[2 決定]を押すと年月日の設定は終了です。続いて時計の設定に移ります。

時計の設定を変更します。

「時」の表示が点滅します。

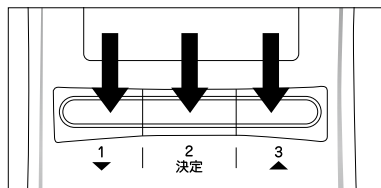
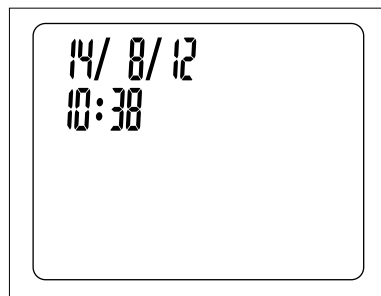
1.
〜 P18-1.〜P19-4.と同じ操作をする。
4.

時計の設定変更は終了です。
年月日・時計の設定変更が終了すると「ピピ」と音がして約2秒後に電源が切れます。

乗務員IDを設定する

IDを設定する

IDとは個人の測定結果をメモリーするために必要です。測定結果をメモリーしたい場合はIDを設定してください。

IDを設定する。

IDは最大3名まで設定できます。
1▼はId-1、2決定はId-2、3▲はId-3です。

例　ここでは「0 00 00000 Id-1」を選択して説明します。

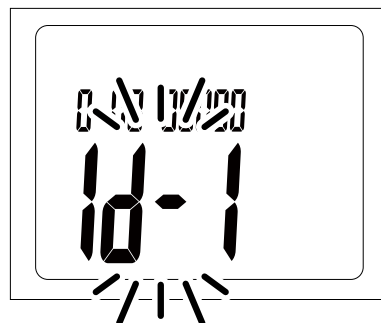
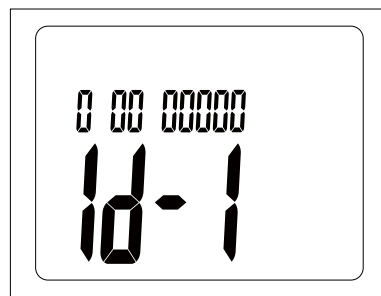
1.「⏻」を約3秒間長押しする。

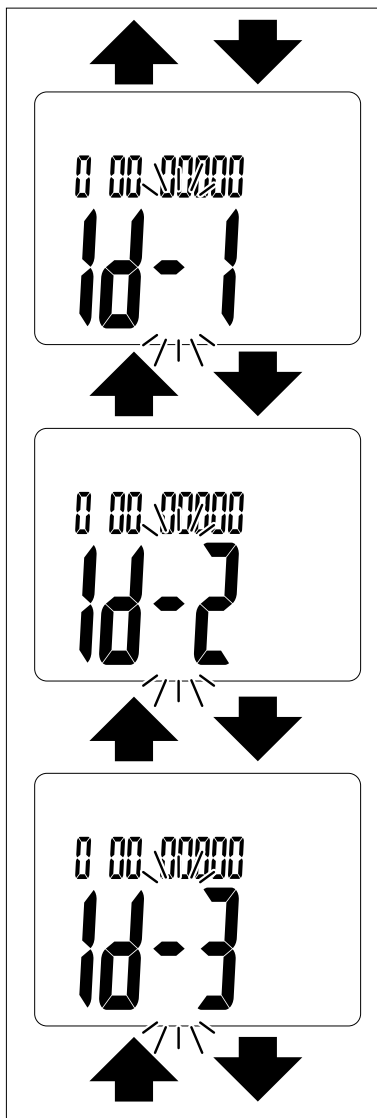
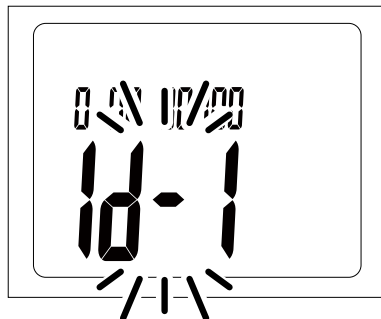
2. 年月日・時計設定画面表示されて選択画面表示に切り替わる。

3. 1▼または3▲を押してID設定画面表示に切り替える。

4.乗務員ID設定画面表示させて 2決定 を押して決定する。

5.「0 00 00000 Id-1」が点滅してIDの選択表示に切り替わる。

次のページへつづく

乗務員IDを設定する

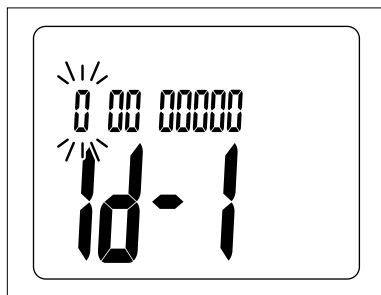
前ページからのつづき

6. [1↓]または[3▲]を押すと「0 00 00000 Id-1 ↔ 0 00 00000 Id-2 ↔ 0 00 00000 Id-3」と表示が切り替わる。

7.「0 00 00000 Id-1」を選択して[2 決定]を押して決定する。

乗務員IDを設定する

お知らせ

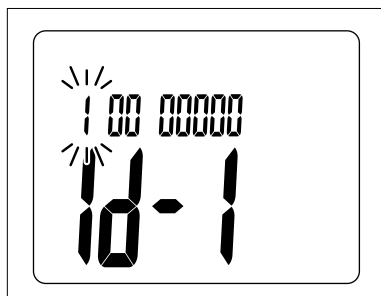
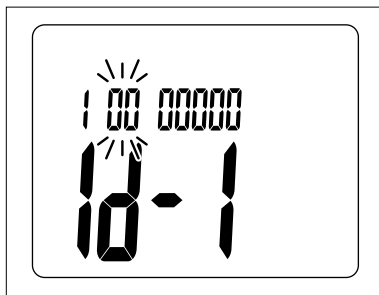
●設定した乗務員IDは忘れないように手帳などに記録してください。
▶個人設定したIDで測定ができません。
▶乗務員IDを変更することができません。

※乗務員ID設定前の初期値は「0 00 00000」です。

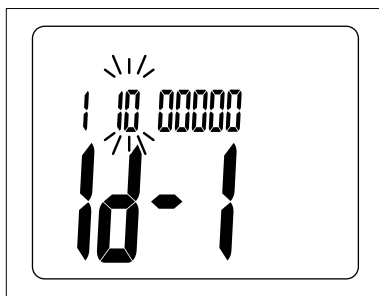
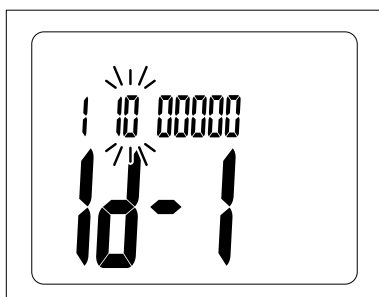
パスワードを入力する。

8.1桁目が点滅する。

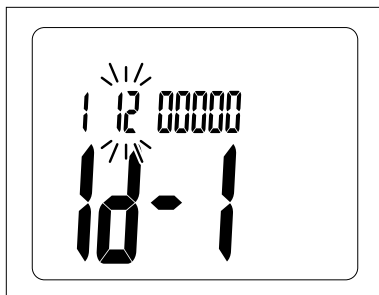
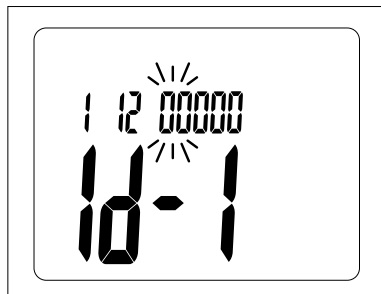
9. [1 ↓] または [3 ▲] を押して設定する。

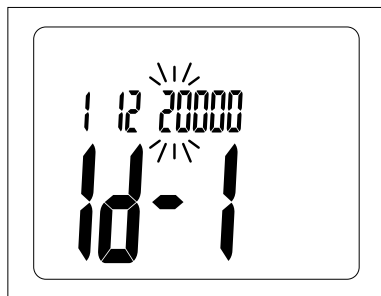
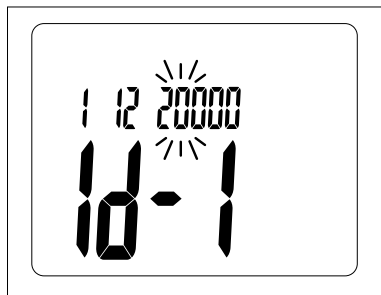
次のページへつづく

使い方

乗務員IDを設定をする

前ページからのつづき

10. [2 決定]を押して決定する。
    2桁目が点滅する。

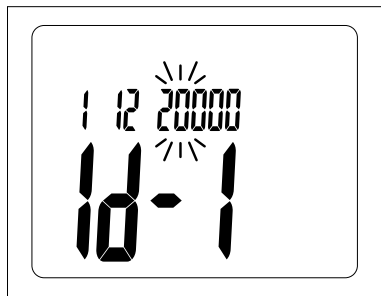
11. [1 ↓] または [3 ▲] を押して設定する。

12. [2 決定]を押して決定する。
    3桁目が点滅する。

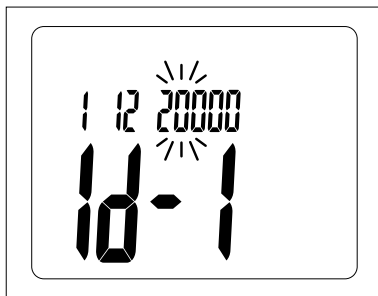
13. [1 ↓] または [3 ▲] を押して設定する。

14. [2 決定] を押して決定する。
4桁目が点滅する。

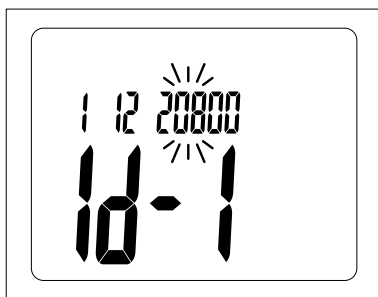
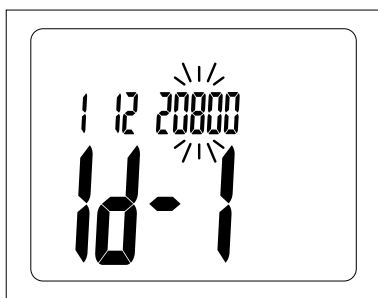
15. [1 ↓] または [3 ▲] を押して設定する。

16. [2 決定] を押して決定する。
5桁目が点滅する。

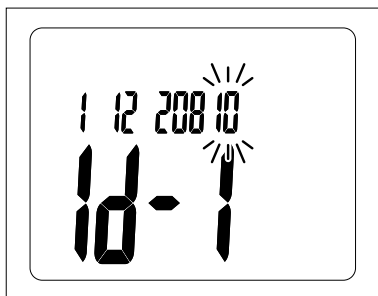
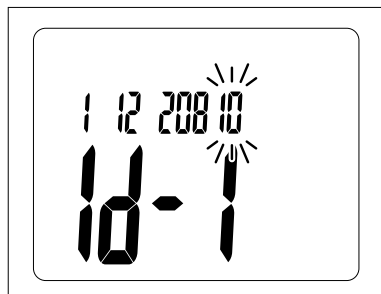
17. [1 ↓] または [3 ▲] を押して設定する。

使い方

次のページへつづく

乗務員IDを設定をする

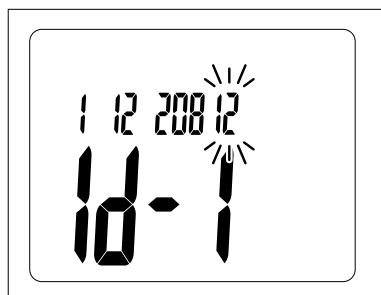
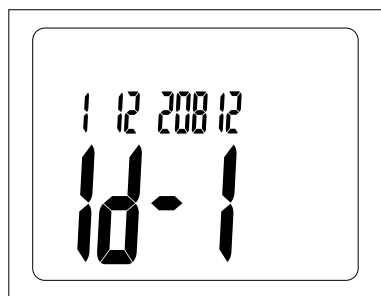
前ページからのつづき

18. [2 決定] を押して決定する。
  6桁目が点滅する。

19. [1 ↓] または [3 ▲] を押して設定する。

20. [2 決定] を押して決定する。
  7桁目が点滅する。

21. [1 ↓] または [3 ▲] を押して設定する。

22. **[2 決定]を押して決定する。**

8桁目が点滅する。

23. **[1 ↓]または[3 ▲]を押して設定する。**

24. **[2 決定]を押して決定する。**

「ピピ」と音がしたらIDの設定と乗務員IDの設定は終了です。
IDの設定と乗務員IDの設定が終了すると、約2秒後に電源が切れます。

乗務員IDを設定をする

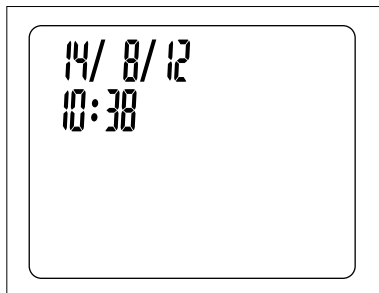
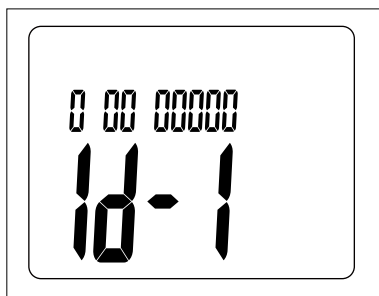
乗務員IDを変更する

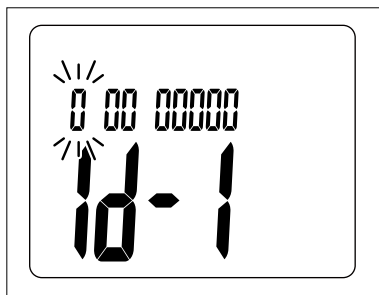
乗務員IDを変更する場合は、「IDを設定する」「乗務員IDを設定する」と同じ操作をして変更してください。

お知らせ

●1分間、操作しない場合、電源が切れます。また、設定が途中の場合は、設定前の値に戻ります。

IDの設定を変更する。

例　ここでは「0 00 00000 Id-1」を選択して説明します。

1. 「⏻」を約3秒間長押しする。
2. 年月日・時計設定画面表示されて選択画面表示に切り替わる。

3.
～ P21-3.～P23-7.と同じ操作をする。
7.

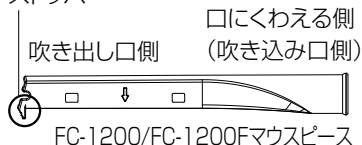
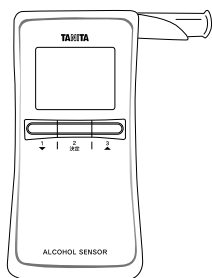
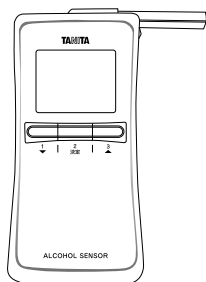
乗務員IDの設定を変更する。

8.
～ P23-8.～P27-24.と同じ操作をする。
24.

「ピピ」と音がしたらIDの設定変更と乗務員IDの設定変更は終了です。
IDの設定変更と乗務員IDの設定変更が終了すると、約2秒後に電源が切れます。

測定準備

本器にマウスピースまたはストローホルダーを装着します。

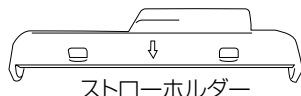
⚠警告

●車両の運転や機械の操作の最中に測定を行わないでください。
▶注意が散漫になり、思わぬ事故を起こす恐れがあります。

お知らせ

●マウスピースを取り付けるときに、マウスピースをスライドさせて取り付けないでください。
▶ガス取り込み口が破損する可能性があるので注意してください。

1.本器にマウスピース（ストローホルダー）を取り付ける。

①マウスピース（ストローホルダー）の取り付け方向は、口にくわえる側を本器の左側、右側どちらでも取り付けることができます。
②マウスピース（ストローホルダー）は端面にストッパーがついています。取り付けるときは本器にストッパーをひっかけてから、はめ込むと、所定の位置に「カチ」と音がして取り付けできます。

お知らせ

●マウスピース、ストローどちらで測定するか決めてください。

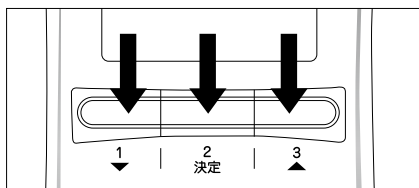
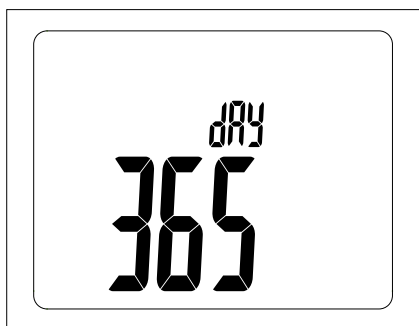
▶ストローで測定する場合はストローホルダーを使用してください。
▶ストローは呼気を吹きやすい長さにカットまたは、そのままの長さでも使用できます。太さは6mmのストローを使用してください。

①ストローで測定した測定値は参考値です。精度保証できませんので注意してください。
②ストローホルダーは測定終了後、必ず取り外して保管してください。
※マウスピース、ストローを本器に取りつけた状態で保管すると、臭いや水滴によりセンサー故障の原因になります。
※ストローは別途購入してください。

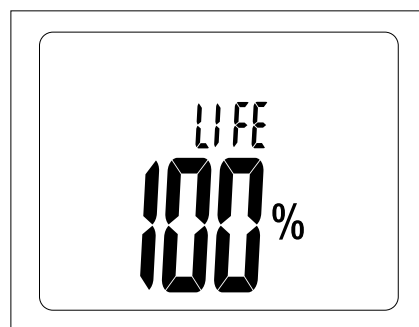
測定する

⚠警告

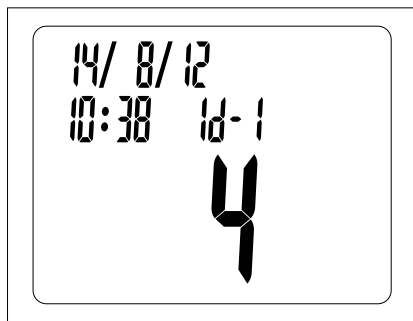
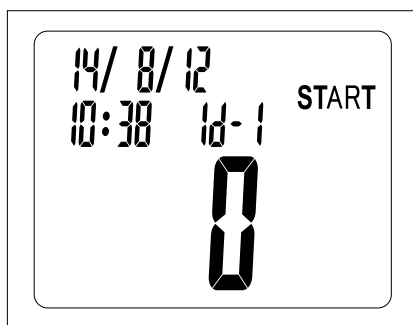
●本器は飲酒運転の可否を判定するものではありません。自動車等の運転、機械操作及び危険を伴う作業をするための判断には絶対に使用しないでください。

乗務員IDを設定した場合の測定方法

個人設定したID [1▼], [2 決定], [3▲] を選んで測定する。ボタンを押すと「ピ」と音がする。

1.センサー使用日数表示。

①センサー使用日数を表示します。

※初期値は「365」、使用開始からセンサー使用日数が減ります。
最大「-35」400日です。(365日を過ぎるとマイナス表示に変わります。366日は「-1」、370日は「-5」と表示します。)

②センサー残り使用時間表示
センサー使用時間の残りを表示します。

※初期値は「100%」、使用開始からセンサー使用時間が減ります。最小「0%」です。

P31「2.センサー起動カウントダウンを開始する。」へ進みます。

2.センサー起動カウントダウンを開始する。

「4→3→2→1→0」とカウントダウンします。

3.約4秒後に「0」となり、「ピピ」と音がして、表示に「START」が表示する。

お知らせ

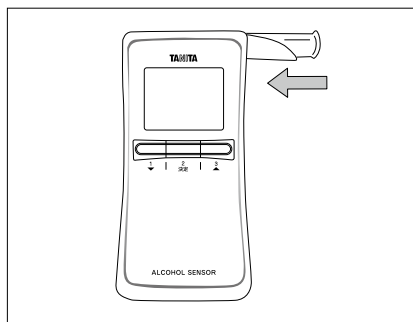
- START表示してから10秒以内に吹きかけてください。
  ▶Er01が点滅表示して電源が切れます。

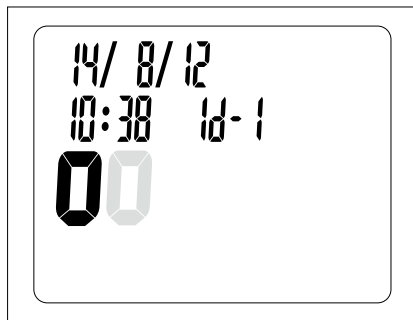
4.マウスピース（ストロー）を口にくわえ、約5秒間息を吹き込む。

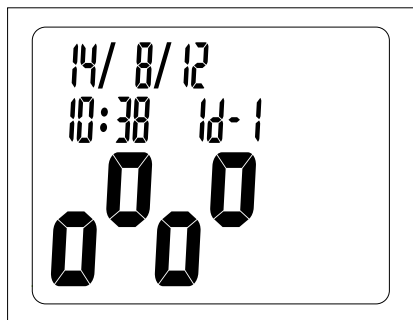
「ピ～～」と音がしている間、息を吹き込んでください。（約5秒間）

お知らせ

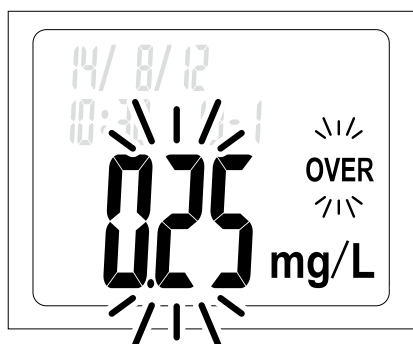
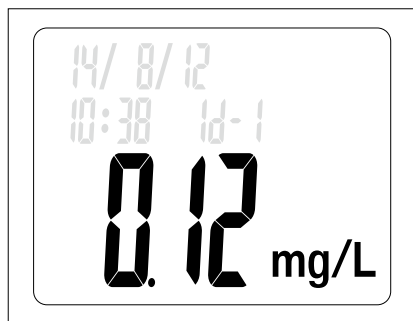
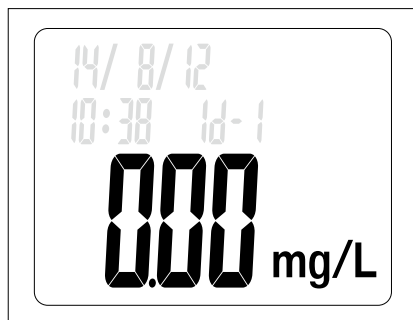
- 吹きかけが不足していたり、吹きかけを途中でやめないでください。
  ▶Er02が点滅表示して電源が切れます。
- 強く吹きかけると息が続かなくなるのでご注意ください。

次のページへつづく

測定する

前ページからのつづき

5.吹きかけを検知する。

吹きかけ中。「吹きかけ不足」、吹きかけ中断」の判定をしています。

6.吹きかけ濃度解析中。

お知らせ

●連続測定したときや測定濃度により解析する時間が変化します。

測定結果

7.測定結果を約10秒間表示する。

お知らせ

●測定結果表示後、約10秒間数値が点灯します。その10秒間の間に「⏻」を押すと測定結果後すぐにP34 「8.センサークリーンニング・カウントダウン」に移行します。
▶時間短縮になります。

①測定結果で数値が出ない場合、「ピピ」と音がする。
(0.00mg/L表示の場合)

②測定結果で数値が出た場合、「ピピーピピー」と音がする。

③測定結果で上限数値を越えた場合、「ピピーピピー」と音がする。

お知らせ

●測定範囲は0.00mg/L〜0.25mg/Lです。0.25mg/L以上検知した場合は、表示に「OVER」が点滅し、「0.25」が点滅表示します。

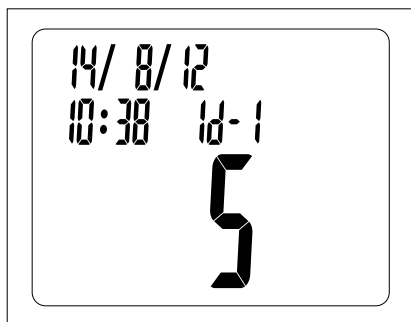
お願い

●本器の息の吹き抜け口を指でふさいだりしないでください。
▶正しく測定できない恐れがあります。

使い方

次のページへつづく

測定する

前ページからのつづき

8.センサークリーニング･カウントダウン。

「5→4→3→2→1→0」とカウントダウンします。

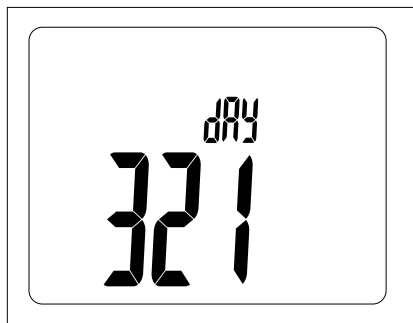
センサークリーニング･カウントダウンが終了すると約2秒後に電源が切れます。

お知らせ

●下記の条件によりセンサークリーニング･カウントダウンが約5秒〜約175秒の間で自動的に切り替わります。
▶測定結果0.00mg/L〜0.25mg/L　約 5秒間
▶測定結果0.25mg/Lを越える。　約25秒間〜約175秒間

FREE測定

FREE測定は乗務員ID設定不要で測定することができます。
FREE測定で測定すると測定データはメモリーされません。
FREE測定にすると各画面表示に「FREE」と表示します。

測定準備
本器にマウスピースまたはストローホルダーを取り付けます。
マウスピースまたはストローホルダーの取り付け方法は「P29測定準備」と同じ操作をしてください。

1.「⏻」を押す。「ピ」と音がする。

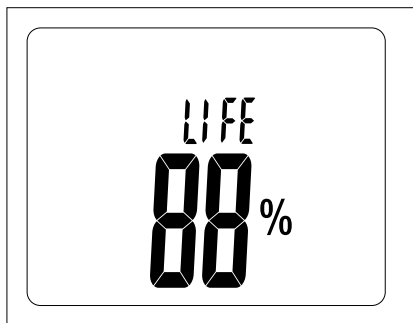
①センサー使用日数を表示します。

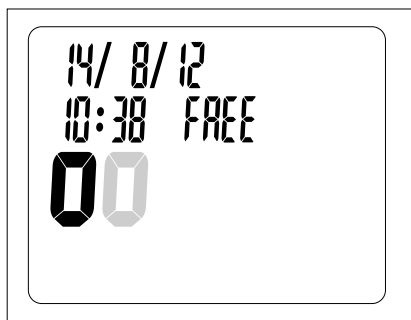
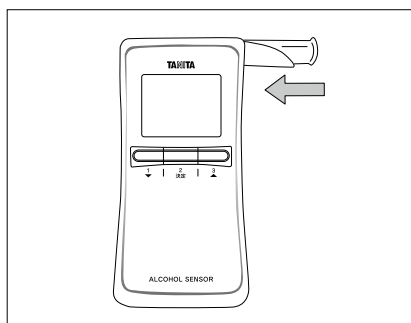
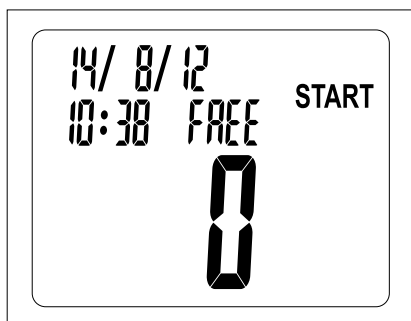
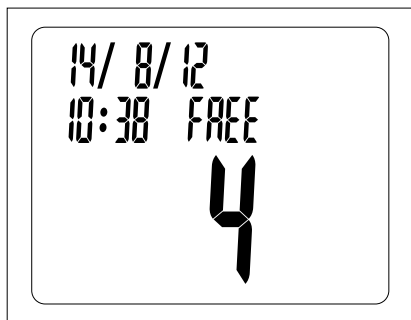
※初期値は「365」、使用開始からセンサー使用日数が減ります。最大「-35」400日です。（365日を過ぎるとマイナス表示に変わります。366日は「-1」、370日は「-5」と表示します。）

②センサー残り使用時間表示。
センサー使用時間の残りを表示します。

※初期値は「100%」、使用開始からセンサー使用時間が減ります。最小「0%」です。

次のページへつづく

使い方

測定する

前ページからのつづき

2.センサー起動カウントダウンを開始する。

「4→3→2→1→0」とカウントダウンします。

3.約4秒後に「0」となり、「ピピ」と音がして、表示に「START」が表示する。

お知らせ

●START表示してから10秒以内に吹きかけてください。
▶Er01が点滅表示して電源が切れます。

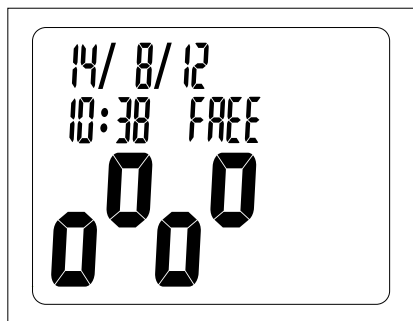
4.マウスピース（ストロー）を口にくわえ、約5秒間息を吹き込む。

「ピ〜〜」と音がしている間、息を吹き込んでください。（約5秒間）

お知らせ

●吹きかけが不足していたり、吹きかけを途中でやめないでください。
▶Er02が点滅表示して電源が切れます。
●強く吹きかけると息が続かなくなるのでご注意ください。

5.吹きかけを検知する。

吹きかけ中。「吹きかけ不足」、吹きかけ中断」の判定をしています。

6.吹きかけ濃度解析中。

お知らせ

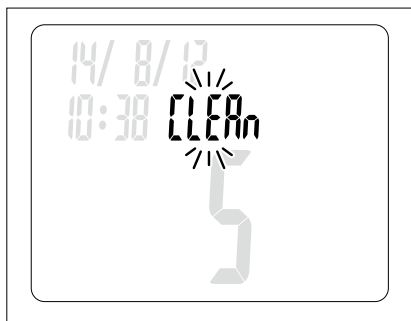
●連続測定したときや測定濃度により解析する時間が変化します。

測定結果

P33-7と同じ測定結果になります。
続いてP34-8と同じセンサークリーニング・カウントダウンに進みます。
センサークリーニング・カウントダウンが終了すると2秒後に電源が切れます。

クリーニング

クリーニングサイン

連続測定、高濃度測定時にストローホルダー、ストロー、マウスピース、本器内にガスが残ることがあるので、測定結果表示後「CLEAn」が表示されたらガスを取り除いてください。

1. 連続20回以上測定を行った場合「CLEAn」が点滅してクリーニングを知らせる。
2. 高濃度測定時に「CLEAn」が点滅してクリーニングを知らせる。

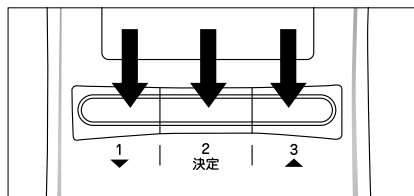
※ガスが残っていると次回から正確な測定ができません。

お知らせ

●連続20回以上測定を行った場合、高濃度測定時に「CLEAn」が点滅表示します。
▶ストローホルダー、ストロー、マウスピース内にガスが残っている場合があるので本器からストローホルダー、ストロー、マウスピースを外して、数回振りガスを取り除いてください。本器にも残っている場合があるので本器を数回振りガスを取り除いてください。
▶必ず水滴をふきとってください。

メモリー

メモリーをみる

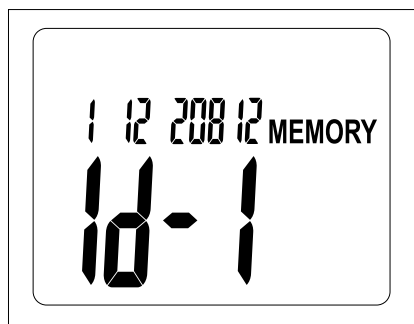
保存された測定結果の確認ができます。
電源が入っていない状態で操作してください。

メモリー確認方法。

個人設定したID [1↓], [2決定], [3▲] を選んでメモリーを確認してください。

例　ここでは「1 12 2008 12 Id-1 MEMORY」を選択して説明します。

1. [1↓] を約3秒間長押しする。「ピ」と音がする。

お知らせ

●メモリー数は各IDにつき100件です。合計300件。
●FREE測定はメモリーされません。

2.「1 12 2008 12 Id-1 MEMORY」を表示したら[2決定]を押す。

P40A.「メモリー表示」に進みます。

次のページへつづく

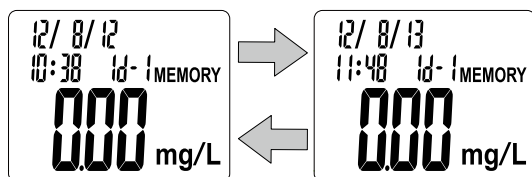
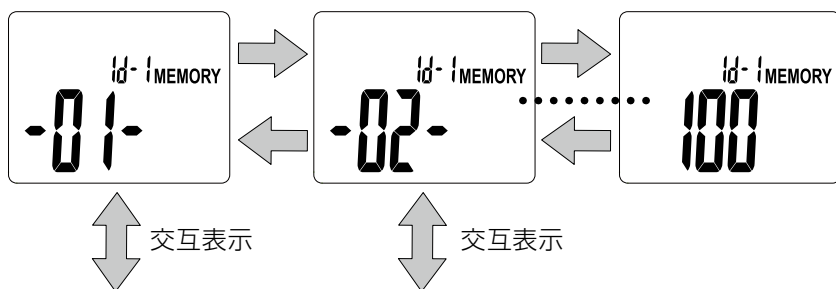
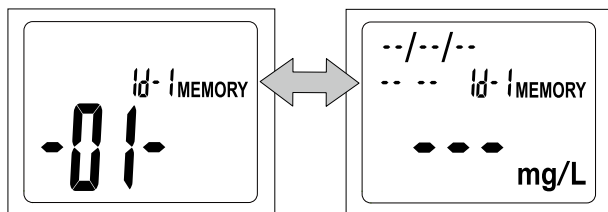
使い方

メモリー

前ページからのつづき

A. メモリー表示

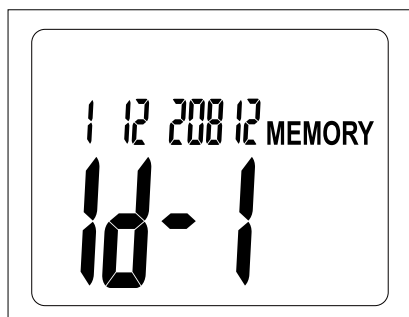
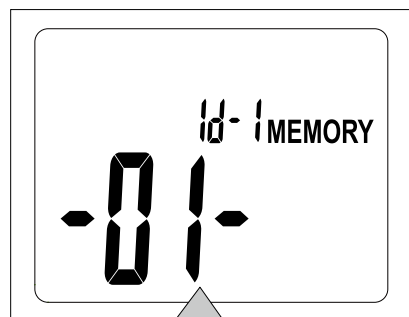
メモリー番号が表示され[1↓]または[3▲]を押してメモリー番号を切り替える。
(「Id-1 MEMORY 100」まで切替可能)

メモリー番号とメモリー内容を交互に表示します。(最新のメモリーは「-01-」に表示します。)

メモリー表示を終了する場合は「⏻」を押してください。電源が切れます。

メモリー消去

保存された測定結果の消去をします。

例　ここでは「1 12 2081 12 Id-1 MEMORY」を選択して説明します。

メモリーを消去する。

1. [1↓] を約3秒間長押しする。「ピ」と音がする。

2. 「1 12 2081 12 Id-1 MEMORY」が点灯してメモリー表示されたら [2決定] を押して決定する。

メモリー番号とメモリー内容が交互に表示します。

3. メモリー番号とメモリー内容が交互に表示されたら [1↓][3▲] を同時に約3秒間長押しする。

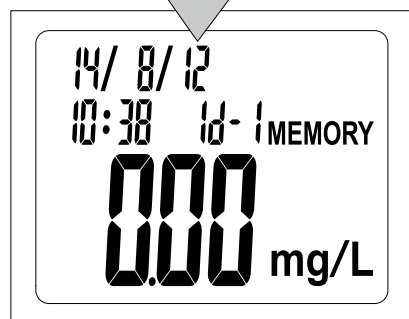
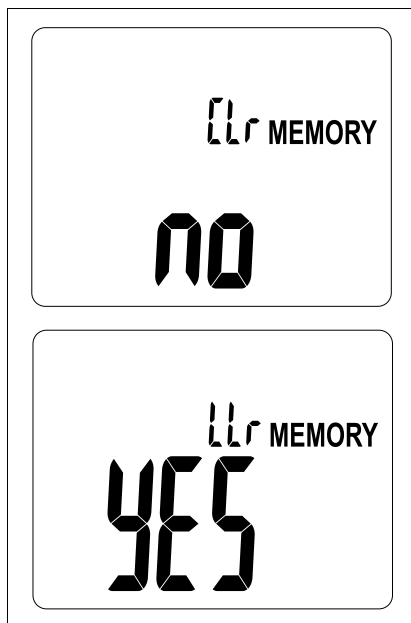
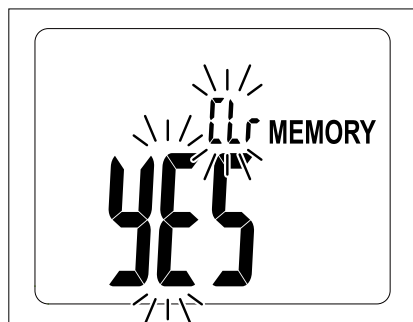
次のページへつづく

使い方

メモリー

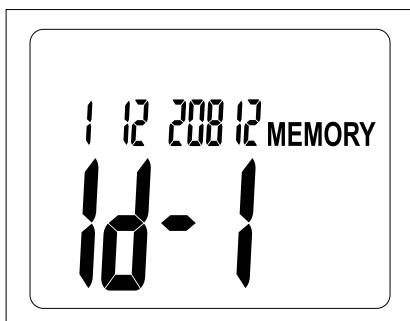
前ページからのつづき

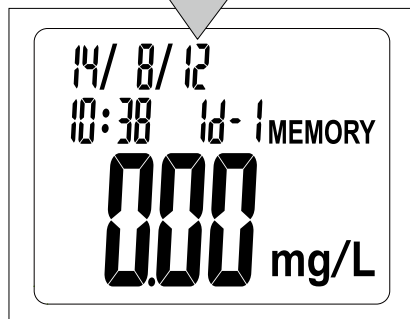
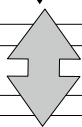
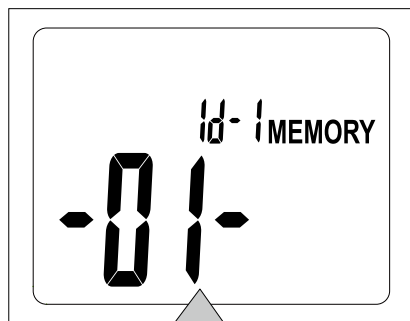
4. 「CLr MEMORY no」が点灯してメモリー消去の選択表示に切り替わる。

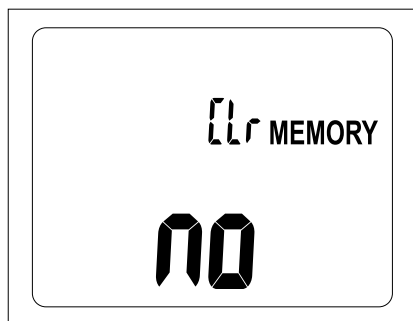
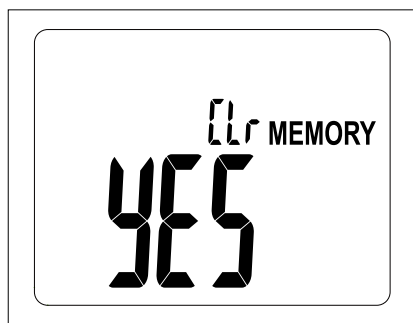
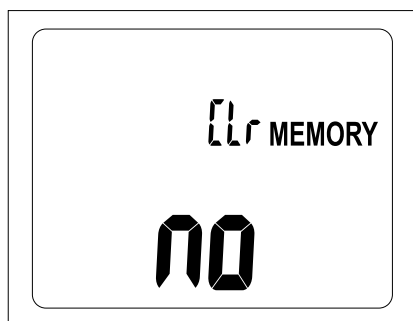
5. [1↓]または[3↑]を押すと「CLr MEMORY no↔CLr MEMORY YES」と表示が切り替わる。

6. 「CLr MEMORY YES」を選択して[2 決定]を押して決定する。

「ピピ」と音がしたらメモリー消去は終了です。メモリー消去が終了すると「CLr MEMORY YES」が点滅して約2秒後に電源が切れます。

メモリー

メモリー消去をやめる

1. [1↓] を約3秒間長押しする。「ピ」と音がする。

2. 「1 12 208 12 Id-1 MEMORY」が点灯してメモリー表示されたら [2 決定] を押して決定する。

メモリー番号とメモリー内容が交互に表示します。

3. メモリー番号とメモリー内容が交互に表示されたら [1↓][3▲] を同時に約3秒間長押しする

4.「CLr MEMORY no」が点灯してメモリー消去の選択表示に切り替わる。

5. [1↓]または[3▲]を押すと「CLr MEMORY no↔CLr MEMORY YES」と表示が切り替わる。

6.「CLr MEMORY no」を選択して[2 決定]を押して決定する。

メモリー消去されません。
メモリー番号とメモリー内容が交互表示まで戻ります。

使い方

通信仕様を選択する

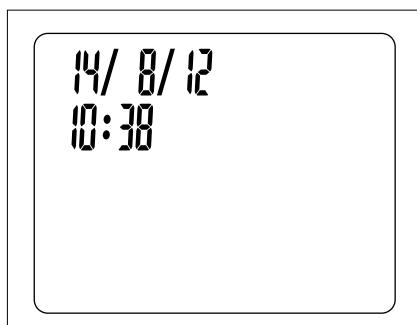
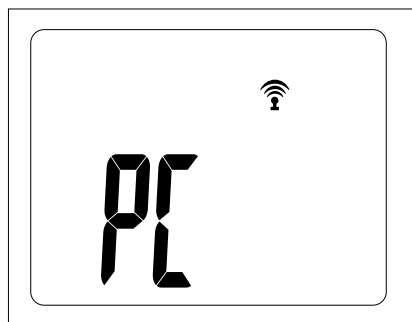
通信仕様選択

お知らせ

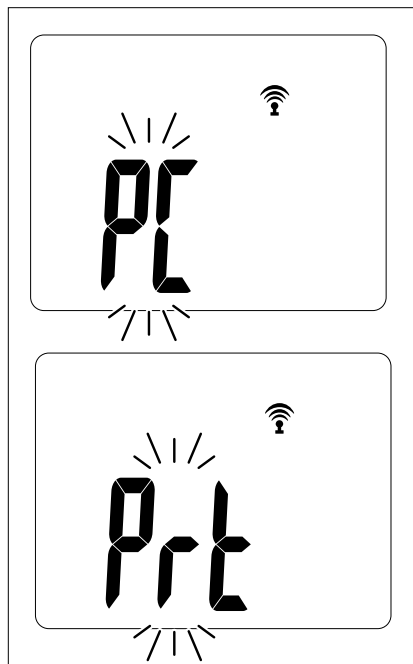
●デジタルタコグラフ通信はFC-1200Fだけの機能になります。

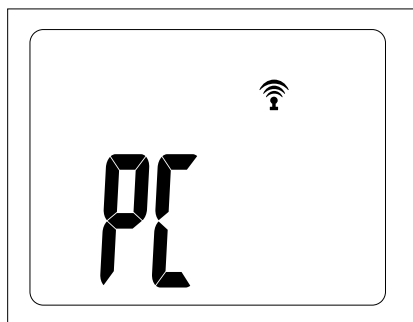
パソコン（PC管理ソフトをダウンロードしたパソコン）／デジタルタコグラフに測定結果を送信したり、サーマルプリンターから測定結果をプリントアウトすることができます。本器との通信先がパソコン／デジタルタコグラフ、サーマルプリンターの中からどちらかを選択します。（パソコン／デジタルタコグラフは同じ通信仕様を選択してください。）
通信仕様の選択方法を説明します。

例　ここでは「パソコン/デジタルタコグラフ通信」を選択して説明します。

パソコン／デジタルタコグラフ通信を選択する。

1.「⏻」を約3秒間長押しする。

2.年月日・時計設定画面表示されて選択画面表示に切り替わる。

3. [1↓] または [3▲] を押して通信仕様設定画面表示に切り替える。

4.通信仕様設定画面表示させて[2 決定]を押して決定する。

5.「PC」が点滅して通信仕様の選択表示に切り替わる。

6. [1↓]または[3▲]を押すと「PC↔Prt」と表示が切り替わる。

7.「PC」を選択して[2決定]を押して決定する。

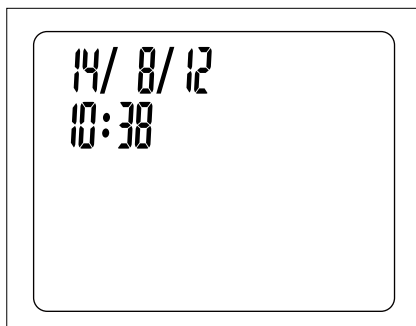
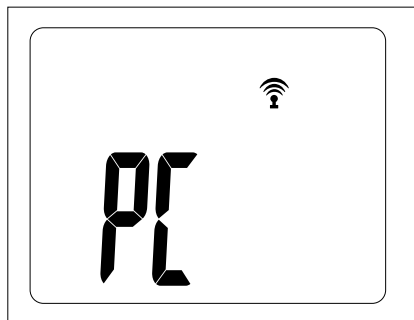
「ピピ」と音がしたらパソコン／デジタルタコグラフ通信の選択は終了です。パソコン／デジタルタコグラフ通信の選択が終了すると約2秒後に電源が切れます。

使い方

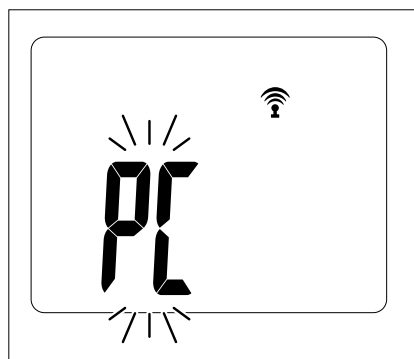
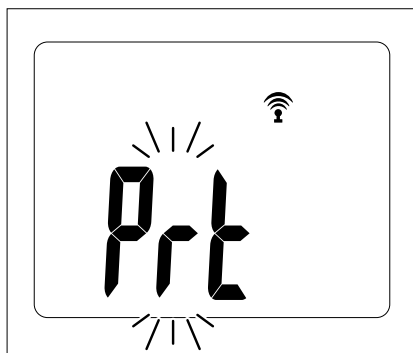
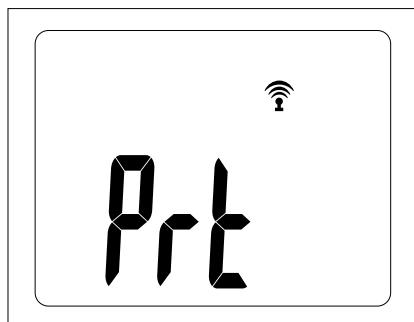
次のページへつづく

通信仕様を選択する

前ページからのつづき

サーマルプリンター通信を選択する

1.「⏻」を約3秒間長押しする。

2.年月日・時計設定画面表示されて選択画面表示に切り替わる。

3. [1↓] または [3▲] を押して通信仕様設定画面表示に切り替える。

4.通信仕様設定画面表示させて[2 決定]を押して決定する。

5.「PC」が点滅して通信仕様の選択表示に切り替わる。

6. [1↓] または [3▲] を押すと「PC ↔ Prt」と表示が切り替わる。

7.「Prt」を選択して [2 決定] を押して決定する。

「ピピ」と音がしたらサーマルプリンター通信の選択は終了です。サーマルプリンター通信の選択が終了すると約2秒後に電源が切れます。

定期点検について

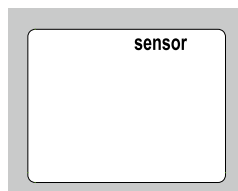
●本器は定期的にメーカーによる検査、校正を行い一定の精度を保持する必要があります。

▶定期点検を行なわずに使用された場合、精度の保証は致しかねます。継続的にお使い頂く場合には、お早めに定期点検をお申込みください。

〈定期点検の実施〉

定期点検実施日までに、タニタサービスより連絡いたします。
下記1. 2.の場合(どちらか早い方)は定期点検をタニタサービスセンターに依頼してください。

1. 表示部に次のように「sensor」マークが表示された場合

※定期点検をお知らせするため、センサー使用時間、累計約55時間以上(約20000回※1の測定に相当)になると「sensor」マークが点滅表示します。
※センサー使用時間、累計約58時間以上(約21000回※1の測定に相当)で測定できません。「Er12」が表示します。

2. 使用開始から1年を経過した場合

※定期点検をお知らせするため、センサー使用日数が365日以上になると「sensor」マークが点滅表示します。
※センサー使用日数が400日以上経過すると測定できません。「Er05」が表示します。
※本器はセンサーの特性上、センサー使用時間、累計約55時間以上(約20000回※1の測定に相当)または、センサー使用日数365日以上経過すると一定の精度を保持できなくなる可能性があります。このような場合には精度の保証は致しかねますので定期点検を必ず実施してください。

3. 「Er12」の場合

※累計約58時間以上(約21000回※1の測定に相当)使用すると測定できなくなります。

4. 「Er05」の場合

※センサー使用日数が400日以上になると測定できなくなります。

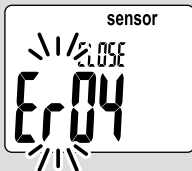
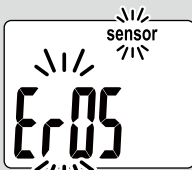
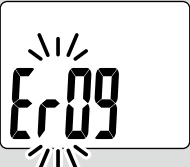
※1　0.05mg/L以上の呼気測定を続けた場合、センサーの使用時間が短くなります。

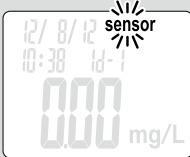
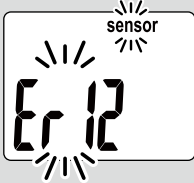
〈定期点検の手続き方法〉

1.タニタサービスセンターに、ご連絡ください。
タニタサービスセンター
0187-66-2168 受付時間/8:00～17:00（土･日･祝祭日･夏季休暇･年末年始は除く）

2.保証書をお手元に用意してください。
※保証書を紛失された場合は、タニタサービスセンターへご連絡いただき、その旨お伝えください。

3.弊社担当者より受け渡し等の手順を説明致します。
会社名、器体番号などの必要事項をお伺いし、点検品の回収、交換品の納期、定期点検期間、必要代金等をご案内いたします。

4.定期点検品の回収と交換品のお届け
定期点検は定期点検品の回収と交換品の納品を同時に行います。タニタから交換品を梱包箱に入れて送りますので、届きましたら交換品が入っていた梱包箱に定期点検品を入れて返却してください。また、交換品には新しい保証書は同封しておりません。定期点検品の保証書が継続して有効となりますので、大切に保管してください。

こんなときは

現象	ご確認ください
判定が高めにでる	●口の中にアルコール成分が残っていませんか? ▶うがいをして再度はかってください。 ●飲食直後、喫煙後、オーラルケア使用後にはかっていませんか? ▶飲食後20分以上経過してからはかってください。 ▶うがいをして再度はかってください。 ●本器に強いにおいがしみついていませんか? ▶本器を数回振ってにおいを取り除いてください。 ●においがある場所ではかっていませんか? ▶場所を変えてはかってください。 ●ストローホルダー、ストロー、マウスピースににおいがしみついていませんか? ▶ストローホルダー、ストロー、マウスピースを水洗いし、よく乾かしてから再度はかってください。又は新品交換してください。
判定が低めに出る	●約5秒間、きちんと息を吹き込みましたか? ▶息を吹き込む時は、約5秒間しっかりと吹き込んでください。 ●マウスピースが所定の場所にセットされていますか? ▶マウスピースをもう一度所定の場所にセットしてからはかってください。 ●風のある場所ではかっていませんか? ▶場所を変えてはかってください。
判定が一致しない	●風のある場所ではかっていませんか? ▶場所を変えてはかってください。 ●においがある場所ではかっていませんか? ▶場所を変えてはかってください。 ●口の中にアルコール成分が残っていませんか? ▶うがいをして再度はかってください。 ●飲食直後、喫煙後、オーラルケア使用後にはかっていませんか? ▶飲食後20分以上経過してからはかってください。 ▶うがいをして再度はかってください。

現象	ご確認ください
飲酒していないのに飲酒した判定が出る	●飲食直後、喫煙後、オーラルケア使用後にはかっていませんか? ▶飲食後20分以上経過してからはかってください。 ▶うがいをして再度はかってください。 ●においがある場所ではかっていませんか? ▶場所を変えてはかってください。 ●本器やストローホルダー、ストロー、マウスピースの内部にお酒のにおいが溜まっていませんか? ▶ストローホルダー、ストロー、マウスピースを数回振ってにおいを取り除いてください。 ▶ストローホルダー、ストロー、マウスピースをきれいに水洗いし、よくかわかしてからはかってください。 ▶本器を4〜5回振ってください。 ●簡易点検キットの簡易点検ガス(別売)や除菌グッズ、オーラルケアグッズ等、アルコール成分を含んだものと本器をハードケースなど密閉された状態の中で保管していませんか? ▶アルコール成分が含まれているものと本器を一緒に保管しないでください。 ※数値が出なくなるまでに数時間〜1週間かかる場合があります。
⏻ボタンを押しても何も表示しない。または表示が全点灯してすぐに消える	●乾電池が消耗していませんか? ▶乾電池を新しいものと交換してください。 ●乾電池が逆に入っていませんか? ▶乾電池を正しく取りつけてください。 ●乾電池の電極にゴミがついていませんか? ▶電極のゴミを取り除いてください。
Er01 が表示される。	● START表示してから10秒以内に吹きかけましたか? ▶ START表示してから10秒以内に吹きかけてください。
Er02 が表示される。	●吹きかけが不足していたり、吹きかけを途中でやめていませんか? ▶約5秒間息を吹き込んでください。 ※センサー使用時間を計測しますので、注意してください。

次のページへつづく

こんなときは

現象	ご確認ください
sensor CLOSE Er04 が表示される。	●システムエラーです。 ▶電池をご使用の時には電池をいれなおしてください。 シガーアダプタご使用のときは本器側のジャックをいれなおしてください ▶改善されない場合は故障の可能性があるので、タニタサービスセンターにお問い合わせください。
sensor Er05 が表示される。	●センサー使用日数が400日を越えていませんか？ ▶タニタサービスセンターに、お問い合わせいただき、速やかに定期点検を実施してください。 ※「Er05」が約5秒間点滅して電源がきれます。定期点検が終了するまで測定できませんので注意してください。 ※定期点検を受ける場合は「定期点検について」を参照してください。

※本器には「Er06」「Er07」は表示されません。

<table>
<tr><th>現象</th><th>ご確認ください</th></tr>
<tr><td>Er08
が表示される。</td><td rowspan="3">●システムエラーです。
▶電池をご使用の時には電池をいれなおしてください。
シガーアダプタご使用のときは本器側のジャックをいれなおしてください。
▶改善されない場合は故障の可能性があるので、タニタサービスセンターにお問い合わせください。</td></tr>
<tr><td>Er09
が表示される。</td></tr>
<tr><td>Er11
が表示される。</td></tr>
</table>

※本器では「Er10」は表示されません。

次のページへつづく

こんなときは

現象	ご確認ください
が表示される。	『sensor』点滅 **●センサー使用時間、センサー使用日数を超えていませんか？** ▶定期検査の時期となるので定期検査を受けてください。 ※定期検査を受ける場合は「定期検査について」を参照してください。
が表示される。	**●センサー使用時間、累計約58時間以上(約21000回※1の測定に相当)を超えていませんか?** ▶タニタサービスセンターにお問い合わせいただき、速やかに定期点検を実施してください。 ※「Er12」が約5秒間点滅して電源が切れます。定期点検が終了するまで測定できませんので注意してください。 ※定期点検を受ける場合は「定期点検について」を参照してください。

※1　0.05mg/Lの呼気測定を続けた場合、センサーの使用時間が短くなります。

主な仕様

項目	内容
製品名	アルコールセンサー
検知方式	燃料電池式ガスセンサー
測定対象	呼気中アルコール濃度
センサー寿命	センサー使用時間、累計約55時間以上（約20000回※1の測定に相当）または、センサー使用日数365日以上経過した場合（"sensor"LCD点灯表示する）どちらか早い方
乗務員ID登録	ID-1 ID-2 ID-3
メモリー	300件(ID-1×100件　ID-2×100件　ID-3×100件)
表示方法	LCD表示
測定範囲	0.05mg/L～0.25mg/L
最小目盛	0.01mg/L
電源	DC3V　単3アルカリ乾電池（LR6）×2本
電源（シガーアダプタ）	DC12V/24Vシガーアダプタソケット対応
使用温度	5℃～35℃
保管温度	0℃～40℃
外形寸法	D33×W72×H145mm
質量	約212g（電池含む）
主な材質	本器：ABS樹脂　マウスピース：PP樹脂 ストローホルダー：ABS樹脂　専用センサーキャップ：ABS樹脂
生産国	中国
付属品	取扱説明書　保証書　お試し用乾電池（単3アルカリ乾電池（LR6）×2本） 収納ハードケース　専用マウスピース　専用センサーキャップ ストローホルダー　シガーアダプター　専用通信ケーブル（RS232C）

※1 0.05mg/L以上の呼気測定を続けた場合、センサー使用時間が短くなります。

株式会社タニタ

お客様サービス相談室　〒174-8630　東京都板橋区前野町1-14-2

タニタ サービスセンター　〒014-0113　秋田県大仙市堀見内字下田茂木添28-1

ホームページアドレス　http://www.tanita.co.jp

お問い合わせ先

フリーダイヤル 0120-133821

携帯電話からはフリーダイヤルに繋がりません。
携帯電話からのお問い合わせはナビダイヤルをご利用ください。

ナビダイヤル 0570-783551

通話料はお客様負担となりますのでご了承ください。

受付時間／9:00～18:00（土・日・祝祭日は除く）

FC12007601(1)-1404GN